



おきなわ いのちの電話

第112号 2009年12月10日発行

相談電話

098-888-4343

(ハハはしみじみ)

毎日10時～23時



12月6日に行われた太陽と
海とジョガーの祭典「第25
回NAHAマラソン」42.195
キロに3万81人が出走した

写真提供
沖縄タイムス

殺伐とした世に潤いの雨となり

沖縄いのちの電話 事務局長
濱端 宏次



この度、前任の伊禮局長の定年退職に
伴い、沖縄いのちの電話事務局長に就任
致しました。

これまで個人的には設立母体法人の一
事業として間接的な関わりに留まつてい
ましたが、今後は多くの電話相談員や運営委員の皆様と共に、
自殺予防の運営体制作りに邁進すべく決意を新たにすると同
時にその責任の重さに、身の引き締まる思いがしています。

沖縄いのちの電話が開局して早33年が経過しましたが、こ
の沖縄でも自ら命を断つ人が後を絶ちません。特に今年上半
期6ヶ月間の自殺者は、227人と前年比の約2倍に急増して
おり、年間500人を突破しそうな、実に深刻な事態となっ
てあります。

ここ沖縄も癒しの島のイメージとは裏腹に、殺人事件等の
凶悪犯罪も多発しており、昔から受け継がれて来た相互扶助
精神の荒廃を誰もが感じているのではないでしょうか。また、
母子家庭等の生活困窮世帯の増加や中小零細企業の倒産、依然
として高水準の失業率、所得格差からくる学力低下等社会
と家庭のどこを見ても将来に夢や希望の持てない現実があり
ます。自殺者の急増は、そのような厳しい社会の反映です。

国も急遽「地域自殺対策緊急強化基金」の補正予算措置を
講じ、「地域における自殺対策力」強化のための事業メニュー
を提示しています。

①「対面型相談緊急支援事業」の体制強化 ②「電話相談
支援事業」の充実 ③「人材養成事業」の推進 ④「普及啓
発活動」の拡充 ⑤「モデル事業」の実施

沖縄いのちの電話の役割は、従来以上に益々大きく重要な
になってきます。

沖縄いのちの電話の運営は、電話相談員の無償の奉仕活動
によって支えられています。現在、約120名が年間一万件以上
の相談に対応していますが、絶対数が不足しており、安定的
な相談員養成の体制強化と相談員の心のケアが不可欠と
なっています。相談員は人知れず一人でも多くのかけがえの
ない命を救うため、日々自殺念慮の方々と向き合っています。

この働きは、殺伐とした世に潤いの雨となり、希望の光です。
私達一人ひとりも家庭や職場や様々な人間関係の中で、
今、精神の危機にある方々に語りかけ、寄り添い、悩みを聴
き、愛を実践する者となりたいものです。一日も早くいのち
の電話のベルが鳴り止む社会の到来を願いつつ、就任挨拶と
致します。

紀律あるボランティア活動を目指して ワーキンググループ活動中



相談員の手引き書作成を目指して、運営委員の渡久山先生を中心に相談員が作業中です。お手伝いいただける相談員は事務局に日程などを確認のうえご参加ください。

倫理向上ワーキンググループの活動について

運営委員 渡久山朝裕

沖縄いのちの電話は開局して33年が過ぎましたが、多くの方々のあたたかい支援に支えられて、年中無休の電話相談活動を続けることができています。皆様に心から感謝申し上げます。特にボランティア電話相談員の方々の働きには頭がさがります。

さて、冒頭にも書きましたように、30年余が過ぎますと開局当初に比べて、コーラー（かけ手）の相談内容や様相も変化しています。それに対応する相談員も研修を積み、技能を向上させていく必要があります。これに加えて、相談員の方々から要望として挙がってきたのが、電話相談活動を行っていく上の手引きや倫理指針が欲しいというものでした。電話当番のやり方や認定相談員の条件、相談員の倫理などについては養成講座や継続勉強会などで説明をしたり、文書を配ったりしていたのですが、相談活動全般について一冊にまとめられた相談員の手引きが必要だということです。

この要望を受けて、運営委員会で検討し、倫理向上ワーキンググループが起ち上がりました。まずは現行の活動について文章化した手引きを作成し、現状を評価しつつ、新しい活動についても盛り込みながら、更新案を打ち出していくことを目指しています。グループ代表は渡久山が担当し、運営委員会と連携しながら進めていくことになりました。

その第1回が今年の6月8日に行われ、12名の方々が集まりました。そこで活動方針が確認され、申し合わせ事項が決まり、文章化の作業分担が決まりました。第2回の8月6日までに12項目中9項目の文章案が集まり、当日は文言のチェックや追加・修正を行いました。第3回は10月1日に行われ、いくつかの新しい制度について文章案が検討されました。今後も2ヶ月に1回のペースで集まり、来春、養成講座が修了するころを目標に、相談員の手引き（仮称）初版を仕上げ、講座修了生と相談員の皆様に配布する計画です。

作業項目例（一部）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 電話担当予約・固定枠・変更 | 5. 自殺志向電話への対応 |
| 2. ボランティア精神 | 6. 対応困難な電話への対応 |
| 3. 電話相談員の倫理 | 7. 電話相談員同士の支え合い、交流 |
| 4. 電話相談員の認定・更新 | 8. 研修生の電話実習への対応 |

『日本自殺予防シンポジウム』に 参加して

9月5日佐賀市において『第34回日本自殺予防シンポジウム』が開催されました。

日本臨床心理士会会長 村瀬嘉代子先生は、これまでの臨床経験をもとに、「聴く」ことの能動的な側面や、クライエントの試行錯誤を受けとめ、機が熟すまで待つといった望まれる援助者像などについて基調講演を行ない

ました。またシンポジウムは「いのちを支えあう」というテーマに、物質依存症は若者ほど形成されやすく脳の働きが変化し悪循環に陥りやすいこと、依存症のセルフグループにおいては「ヘルパーセラピー」の効果が期待されること、家族へのケアの重要性が報告されました。今回のシンポジウムではおもに、物質依存症による自殺のリスクやその治療過程での自殺防止について考えさせられました。

年間自殺者3万人という時代がここ10年以上続き、沖縄県においても年間400人をこえるほどになってしましました。この現状を何とか食い止めようと、国はいくつかの施策を打ち出し、各自治体においても自殺防止への取り組みが進められつつあります。しかし、自殺を減少させるにはまだまだ時間が必要です。

「まさか自分がこうなるとは思ってもみなかつた」というつぶやきが依存症やうつ病に罹った人から聞かれます。また、「病で知人や友人が自分から離れていくのが何よりも辛い」という声も耳にします。これらの病は誰にでも罹りうるもので、その本当の姿は自分や身近な人が罹ってみないと、見えてこないのかも知れません。知らない分恐ろしさも倍増して、罹患した人にどう接してよいかわからず距離を置いてしまったり、もし自分が罹患しても周囲になかなか言い出せなかったりする傾向が強くなる

のでしょうか。こうして、必要とされる治療を受けるまでに時間がかかるケースや、不自由な社会生活を送らざるを得ないケースもあるようです。

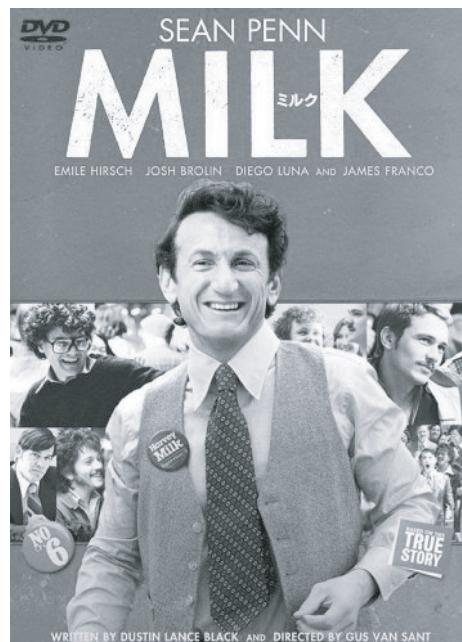
現状から考えると、自殺のリスクを高めるこれらの病いを身近な問題として、国民一人ひとりが改めてとらえ直す時期に来ています。また、身体的な病がそうであるように、これらの病いもその人のごく一部であり、健全な部分やそれまでのその人らしさもあるのだという、極端な言い方をするとその延長線上に自分も生きているという感覚を持つことが求められているとも言えます。新しいネットワーク作りの過程においても、このような理解を広げていくことで、病を予防する意識を高め、互いに”気づき” ”つなぎ” ”見守る”ための土台が作られていくものと思います。

研修担当 大嶺

映画紹介

『ミルク』(Milk) 2008年

自らゲイであることを公表しマイノリティのために戦った伝説の政治家ハーヴィー・ミルクの波乱に満ちた人生最後の8年間、N.Y.からサンフランシスコにやって来たハーヴィー・ミルクは、同性愛者たちが集まるカストロ通りで小さな写真店を開く。やがてミルクは同性愛者、有色人種、シニア層など社会の弱者の“声”を伝えるべく政治の世界へと飛び込む。4度目の出馬でサンフランシスコの市政執行委員選に見事当選し、マイノリティを支援する条例を実現するための行動を推し進める。しかし、就任して1年も経たないうちに、彼は志なれば敵対する市政執行委員の凶弾に倒れる。1970年代に同性愛者の権利を獲得するために命を捧げた政治活動家、ハーヴィー・ミルクの半生を描く。監督は『エレファント』のガス・ヴァン・サント。ミルクをオスカー俳優ショーン・ペンが演じている。(Amazon.co.jpより)



沖縄いのちの電話カウンセリング 公開講座

参加してよかったです

H・M 50代女性

講座の内容が性同一性障害、ギャンブル依存、発達障害、消費者金融等、現代の問題がとりあげられていて、大変興味深かつたです。特にカウンセリングの仲村先生、渡久山先生の進め方、演習等はもっと時間をとっていただけたらなあと感じました。講座受講をしてきた中で、いろいろな悩みや課題を抱えている人が多くいることを知り、「沖縄いのちの電話」の果たしている役割がとても大事だということがわかりました。悩んでどうしようもなく前に進めずにいる方がもっと気軽に「いのちの電話」へ電話してくれたらなあと思います。講座を受けたことを糸口にして、さらに視野をひろげていけるよう、現代の問題の情報を吸収していくけるようアンテナを張っています。さらには、他の人へも「沖縄いのちの電話」を紹介していきたいと思います。

R・S 30代女性

相談を受ける側にありながら、自己や人間関係において専門的でない自分に気づき、身近なところから学習したいと思ったのがきっかけで、新聞の記事で「カウンセリング公開講座」の情報を見かけ電話をしましたが、資料を送っていただいて、その充実した内容に思わず悲鳴をあげた私です。実際、受講してそれぞれに内容も良く大変になる講義でした。4ヶ月という短い期間で14回の講義を受けられたことに、沖縄いのちの電話事務局の皆様をはじめ、講師の先生方には貴重な時間を頂き、感謝しております。ありがとうございました。今後このことを生かせるよう努力していきたいと思います。

2009年度
終了生

R・N 30代女性

受講したひとつひとつの講座すべてに新しい発見があり、興味深く学ぶことができました。「悩み、痛みに寄り添う」ということが一番深く、大きな学びでした。また沖縄のD.V、ギャンブル等の現状を知ることができたことも私にはよかったです。人とのコミュニケーション力を高めるための大きなヒントになりました。ありがとうございました。感謝。

S・H 30代女性

カウンセリングの知識が全くないゼ 口からのスタートで当初のイメージは、カウンセラーとは悩んでいらっしゃる方への助言を行うことだと思っていました。しかし、その固定概念が誤っていることに早くも気づかされましたことからスタートしました。講義前半では、理論として学んだことが、すんなりと理解が進みませんでしたが、後半の基礎演習を体験することで、理解を体で感じ始めることができました。カウンセリング理論以外では、クライエントが抱えている悩み等の背後にいる、社会的要因を知ることで、クライエントが感じるであろう気持ちを想像し、援助的支援の幅(共感)を広げてゆく土台の大切さを学ぶことができました。

N・M 30代女性

いつも人の話を聞けない、一方的で押しつけだけの自分がいることを改めて痛感し、このカウンセリング公開講座を自分の為、社会の為に少しでも役立てたらと思いました。毎回とても楽しい内容で、特にロールプレイはあつという間の2時間でした。ありがとうございました。

募

集

沖縄いのちの電話(電話相談養成講座)

カウンセリング公開講座 2010年度 募集

沖縄いのちの電話では毎年 6月～9月までの毎週木曜日 公開講座(15回講座)を開講致しております

本講座は、多くの県民の皆さんにカウンセリングの知識を持っていただき、会話を通して、職場や家庭生活における、人間関係の向上、ひいては、メンタルケアの一助となれるような活動の一環として、広く募集を行っております。また、沖縄いのちの電話を支える相談員が減少、相談の電話をかけてきてても応対できないのが現状で、相談員不足は深刻な課題となってあります。公開講座を通して、沖縄いのちの電話の活動を幅広く知っていただき、一人でも多くの方に、相談員に対する理解を深めていただく講座もあります。カウンセリングを勉強してみたい方、何カボランティアを始めたいと思っている方、又は、電話相談員に興味があるが、自分ができるのだろうか悩んでおられる方、一度、公開講座の門を叩いてみてください。

詳細は… 沖縄いのちの電話事務局 電話 (098) 888-4747

厚生労働省補助事業

いのちの電話全国研修担当者セミナーに参加して

去る10月8日9日、札幌において「いのちの電話全国担当者セミナー」が開催されました。メインテーマは「相談員のメンタルヘルス」と「相談記録の分類統計」についてでした。



研修風景

2日間におよぶ研修担当者セミナーでは、相談員のメンタルヘルス、相談記録の分類統計、研修の持ち方等、様々な学びがありました。沖縄を代表しての参加でしたので、ここで皆様に研修報告をします。

まず、精神科医である田辺等先生の講義では、先生の体験談から、専門の精神医学やカウンセリング、依存関連問題等の話になりました。いのちの電話の相談員は「どうして相談員になったのか」「疲れないか」「疲れていないか」といった質問をされないでどうしようか、と参加者に投げかけていました。いのちの電話では、色々な電話がかかります。その中で、相談員が頭において欲しいのは、「我々はできる事とできない事がある、それを受け入れないといけないということ」であり、「いくら我々が頑張っても防ぎきれない死がある」という事でした。さらに、疲れるケース、不純なケース、性的ハラスメントのケースを扱って

いる現状から、相談員が耐えていくためには相談員同士の支えあいやグループスーパーヴィジョンの重要性について述べていました。

シンポジウムでは、相談員のメンタルヘルスの観点から、3つの意見がありました。まずは、いのちの電話の本質について、「自殺問題を扱う電話であり、それに耐えられないヤツな人は辞めたらいい」という厳しい発言から、「相談員のケアを重点的に行っている。相談員の人権を守るというスタンスを強く持っている。」という意見もあり、続く分科会でも活発な論議が交わされました。今回の研修会は厚生労働省事業で、公金を使っているという事で、いのちの電話の社会的役割について考えさせられました。さらに、自殺予防が目的の電話であり、担当者個人がその目的を意識して電話を取り続けるという事が大切であると痛感しました。

研修担当（大兼）

シリーズ・ファミリー

娘達からの学び



結婚して5年近く子供が出来なかった夫婦に、やっと授かった子供が双子だった。

女性が、双子の懷妊を知ったのは、膠原病を患い他界した実母が亡くなった直後だった。

法事が落ち着いた頃、女性は実父に、双子懷妊を告げたところ、実父は「死んだお母ちゃんは悪阻が激しかったから、いつも双子が欲しいと言っていた・・」と涙ぐんだ。

双子の予定日は、実母の誕生日と二日違い、干支も一緒である。

双子の家系を持たない夫婦から・・・突然、女の子の双子を出産・・・女性は娘達を、実母の生まれ変わりだと信じている。

娘達は、かつて実母がさまざまな事を教えてくれたように、その女性に、色々な事を教えてくれる。

二人はいつも、双子だと主張しているかのように、お揃いの服を着せられていた。

ある日、いつもの様にお揃いの服を着て、玄関に立つ娘達の靴を見て、女性は愕然とする。

二人は、数日前、知人からいただいた、デザインも色も違う二つのお下がりの靴を片方ずつ履いていたのだ。たまたま、一緒に生まれてきただけの二人を、双子として育てようとしていたことに気づき、個々人の個性を活かすことを、仕事中でも考えるようになった。

出産から4年後、女性は仕事のストレスから癌を患い、仕事を休み長期の療養生活を余儀なくされた。手術後、女性が自宅療養中は、これまでの時間を埋めるかのように、娘達は母親にひっ付いてくる。

女性は病気の再発や、仕事と家事・育児の両立のことを考え、仕事を辞めることを考えていた。

女性は娘達に、母さんが仕事を辞めて、家に居た方がいいのかと聞いてみた。

娘達は「母さんは仕事している方が元気だから、仕事した方がいいよ」と一蹴された。

女性は、娘達の為に仕事をしていると思い込んでいただけで、自分の為に仕事をしていることに気がついた。

日々の生活の中から、子供達から学ぶ事が多い。

それを、単なる出来事と捉えるのか、学びとして捉えるのか・・それは貴方自身。

自身を振り返る・・反面教師のような存在だと・・女性は感じている。（アールグレイ）

2009年度沖縄いのちの電話・主な動き

平成 21年度沖縄県自殺対策連絡協議会

日時：5月28日(木)14:30～
場所：沖縄県庁 6階 第1特別会議室
参加者：大西正子運営委員長



第1回倫理向上ワーキンググループ

日時：6月8日(月)19:00～
場所：県総合精神保健福祉センター中会議室
リーダー：渡久山朝裕（運営委員研修担当）



2009年度カウンセリング公開講座・開講

日時：6月11日(木)19:00～
演題：性同一障害の方を理解して支える
講師：山本和義氏
(心療内山本クリニック院長)



沖縄県議会副議長・玉城義和議員が

沖縄いのちの電話を訪問

日時：6月15日(月)
※事務局員が沖縄いのちの電話の
現状を説明した。



沖縄県議会副議長・玉城義和議員を訪問

日時：6月18日(木)
訪問者：運営委員長/大西正子 運営委員
/渡久山朝裕 事務局員2人
沖縄いのちの電話からの要望書(見積り
書)を提出、現在の状況を説明した。

九州地区事務担当者会議

日時：6月 19日(金)20日(土)
場所：県男女共同参画センター
「ているる」
参加者：九州各県のいのちの電話から14人参加



沖縄県議会事務局より答弁書(FAX)が届く

6月 29日(月)、玉城義和・県議員の沖縄いのち
の電話に対する答弁書が、FAXで届く。
→沖縄いのちの電話事務局に掲示した



沖縄県犯罪被害者支援連絡協議会第2回幹事会

日時：2009年 7月 14日(火)14:00～
場所：沖縄県南部合同庁舎5階大会議室
参加者：大西正子運営委員長



第2回倫理向上ワーキンググループ

日時：8月 6日(木)19:00～
場所：県総合精神保健福祉センター中会議室
リーダー：渡久山 朝裕（運営委員研修担当）



沖縄県犯罪被害者支援連絡協議会第 10回総会

日時：8月 18日 (火) 13:30
会場：沖縄産業支援センター3階会議室
参加者：大西正子運営委員長



沖縄県福祉保健部障害保健福祉課

保健福祉課課長他 3人の方々が、
沖縄いのちの電話を訪問
日時：9月2日(水)10:00～

国吉理事長、大西運営委員長、他 2人の運営
委員が、沖縄いのちの電話の現状報告を行った。

自殺予防シンポジウム（佐賀）

日時：9月 5日(土)
場所：佐賀県
参加者：大嶺歩(研修担当)



平成 21年度アデクション連絡会議

日時：9月9日(水)
場所：県総合精神保健福祉センター研修室
参加者：城間博子(事務局員)

沖縄県相談業務関係機関・団体ネットワーク会議

日時：9月 18日(金)15:00～
場所：沖縄県警本部 8階講堂
参加者：大西正子運営委員長



いのちの電話全国事務局長会議（仙台）

日時：9月18(金)19日(土)
場所：宮城県仙台市
参加者：城間博子(事務局員)が代理出席

第3回倫理向上ワーキンググループ

日時：10月 1日(木)19:00～
会場：県総合精神保健福祉
センター中会議室
リーダー：渡久山朝裕
(運営委員研修担当)



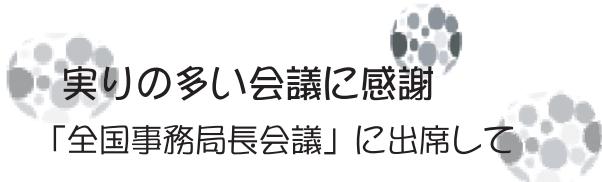
いのちの電話研修担当者セミナー(札幌)

日時：10月8日(木)9日(金)
場所：北海道札幌市
参加者：大村光枝、大兼千津子(研修担当)



第27回いのちの電話相談員全国研修会 in 和歌山

日時：11月21日(土)～23日(月)
場所：和歌山県
参加者：濱端事務局長他4名



9月18・19日、仙台で「全国いのちの電話事務局長会議」が開催されました。

会議では、1) 統計の分類について、2) 内閣府の緊急自殺対策費について各県の情報交換等が行われ、その後2グループに分かれて話し合いが行われました。

その中で印象に残った事は、どのセンターでも事務局員が相談員のケアを日常的に行って、その事務局員のケアを事務局長が行い、事務局長は奥様方の寛大な優しさに癒されている様です。

19センターのうち相談室が個室になっているのは3センターしかありませんでした。大部分のセンターは個室でないため相談に集中できない時もある様ですが、周りを意識することで丁寧な対応が期待できるそうです。相談者同士がお互いに気配りし合いながら良い関係が築かれて

いる事は素晴らしいと思いました。

実りの多い会議に参加できて感謝です。

(事務局員 城間)

第8回九州地区 いのちの電話事務担当者会議 沖縄で開催

平成21年6月19日・20日、沖縄県男女共同参画センター「ているる」にて、九州地区7センターより事務局長と事務局員14名、沖縄センターからは、オブザーバーとして大西運営委員長、及び運営委員、多くの相談員が参加し開催されました。

各センターより議題として提出された事項、
 ①攻撃する人とセックス電話の対応について
 ②相談員の研修について ③相談員へのコーラーからの苦情処理について ④養成講座について
 ⑤内閣府緊急自殺対策「案」 ⑥広報啓発活動の実施状況⑦チャリティーイベント事業の実施状況等の情報交換の7項目の協議が行われました。

(運営委員 大村)

皆様のご厚意に心より感謝申し上げます

♥寄付金 (2009年4月～10月) 130件 916,123円

2009年度も、たくさんの団体、企業、個人の方々から、沖縄いのちの電話へご寄付いただきました。本紙を借りて、心より厚く御礼申し上げます。今後とも、沖縄いのちの電話の活動をご支援いただきたく、よろしくお願ひ致します。

♥団体寄付金46件 449,523円

島袋昭良税理士事務所
仲村敦税理士事務所
西村眞一税理士事務所
城間医院 城間政州
宮城秀敏税理士事務所
大城純一法律相談事務所
半嶺当友司法書士事務所
大濱真三郎税理士事務所
上原正一司法書士事務所
ももクリニック 門馬康二
松城クリニック 山根邦夫
田本クリニック 田本伸
医) 天仁会 天久台病院
田崎病院 仲宗根泰昭
興南施設管理株式会社

♥個人寄付金85件 466,600円

當眞 嗣博 田端 悅子
中野 久永 島袋 幸子
永吉 盛元 謝花 良掌
比嘉 貞子 城田 世純
平川 英子 城間 優香
前城 嘉訓 新里 邦子
宮里 幸子 知念 健吉

相愛幼稚園
大宜見クリニック
福の木診療所
本永税理士事務所
山内税理士事務所
金城和博法律事務所
美里教会
北谷ナザレン教会
浦添ナザレン教会
胡屋パブテスト教会
豊見城パブテスト教会
隣人キリスト教会
日基沖縄中央教会
相愛幼稚園
博愛病院 仲本政雄
株) お菓子のポルシェ

池宮城博美
瑞慶覧恵美子
大浜秀樹・球子
小浜志津江
島袋喜代子
島袋由美子
諸喜田明美
上江洲美子

大久保英子 伊禮 盛次 山内 キミ
渡久山朝裕 大城 俊一 山城 初枝
仲宗根長義 大城 芳子 国吉 昇
諸見里由紀 大西 正子 国吉 守
花城梨枝子 金城 郁生 谷 昌二
石川ミツ子 金城 洋子 中山 勲
池宮 繁子 小杉 美代 匿名希望40人
稻嶺 文子 (順不同、敬称略)

ハイビスカス





赤くなった「月桃」の実

『いのちの電話』を 資金ボランティアとして 支えて下さい

寄付の振込みは
★郵便振替 02080-0-15575
 沖縄いのちの電話
★琉球銀行 本店 普通預金 1018294
 社会福祉法人琉球キリスト教奉仕団
 沖縄いのちの電話 理事長 国吉守

『沖縄いのちの電話』の活動は、その主旨をご理解いただいた多くの市民、病院関係者、各団体等の善意によって支えられています。

相談員の育成費、事務経費等、多額の運営費が必要です。

一人でも多くの方に、資金ボランティアとして、ご支援いただけることを願っております。

私達『沖縄いのちの電話』の活動へのご理解とご協力を、よろしくお願ひ致します。

寄稿

日々の出来事を、
寄稿してみませんか。
字数は600字程度、匿名
でも構いません。本紙で
紹介させていただきます。

表紙の写真

本広報紙の表紙
の写真を募集しています。沖縄らしい・・貴方
の一枚が、表紙を飾ります。
尚、使用した写真はお返
し致します。



皆様の積極的な広報活動へ
の参加をお待ちしています。

・・応募は下記まで・・

沖縄いのちの電話事務局
(098) 888-4747
(広報委員会)



川柳

ユニークな川柳、
時代を読んだ川柳、
日々の生活の中で、思うこ
とを川柳にしてみませんか。
本紙にて紹介させていた
だきます。

広報委員

本紙の編集やホ
ームページを作成・更
新する仲間を募集していま
す。特別な技術は必要あり
ません。連絡をお待ちし
ています。

編集後記

まだ暑さの残る山形に行って来た。
兄の50年忌、父親の37年忌、弟
の1年早い7年忌、それに母親の3年
忌。私のかつての家族全員の法事で
した。亡くなったその時のことが鮮明に浮かんで
きます。

兄は17才だった。吹雪きの中深い雪をかき分け
ながらの「送り」はあまりにも悲しかった。弟は
幼い3人の子どもを残して逝った。母は2人の我が
子に先立たれどんな思いだったろう。

実家の「送り」はたくさんの人の手を借りる。
檀家制の残っている田舎のこと、お葬式は親戚と
隣組みであげ、初七日までは毎日近くの人々が夜

遅くまで念仏をあげに来てくれる。人の命はこんなにも大事なんだと思い知られ、半面ご詠歌の世界に癒される。

しかし、今回のメインはひたすら宴会だ。年と
った親戚に元気な甥っ子たち、本土にいる子供達
にも会うのもうれしい。母たちのプレゼントに感謝しなければ・・だろうか。

弟の嫁が家を守っている。沖縄に嫁いだ娘は親
不孝を詫びつつ「たいへん、山形の嫁にも、ば
あさんにもとてもなれない」と、また思い知ら
れた旅だった。

でもこの広報員としては頑張っていけるかな
と思い直している

(編集員 照々)